

# 予備審判の役割

## 審判委員会

- 1 予備審判は、審判員の一員として主審の競技運行を補佐する。
- 2 競技前の主審・線審の打合せに参加し、主審から指示を受ける。
- 3 競技中は競技場中央の、タッチラインからやや離れたところに設けられた予備審判席に着席する。（必ず審判衣を着用していること……トレーニングスーツは着けていても良い）
- 4 競技前の競技場、メンバー表と選手の背番号、競技者の用具のチェックに協力する。  
（スタッド・レガースの検査、時計、ペンダント、指輪＝特に大きいもの等の着用）
- 5 主審又は線審が事故その他の理由で、交替が必要な場合は打合せの際確認している審判に入る。
- 6 競技者が交代する場合は
  - ① 交替カードを点検し、氏名、背番号を交代要員のリストでチェックする。  
（リストに無い要員、監督のサイン等の無い場合はベンチへ帰す）
  - ② スパイク（特にスタッド等＝上記第4項）その他の用具をチェックする。
  - ③ 交代して退場する競技者の背番号をプラカードに掲示し、線審に選手交代がある旨を知らせる。
  - ④ ハーフウェイラインの外で待機し、アウト・オブ・プレーの時プラカードを示し主審に知らせる。（無いときは声で良い）
  - ⑤ 退場する競技者が競技場外に出た後で、主審の合図の後交代して入場する競技者（交代選手）を入場させる。
- 7 競技の記録をとる（予備審判記録用紙を使用する）  
記録は競技終了後、主審から求められれば参考として示す。
- 8 予備ボールの管理（主審からボールを求められた時に出せるように用意して置く）
- 9 ベンチの管理  
ベンチに入る人数の確認、交代要員の管理、負傷者の出た時は主審から入る許可のあった場合のみ1名だけ競技場内に入れる。（監督、コーチ、ドクター、トレーナーは負傷者が出ると、すぐ競技場内に入ろうとするが、主審の許可があるまで入れてはならない）
- 10 競技者の無断の入退場が無いよう監視する。
- 11 カメラマンの規制  
ゴールの後ろ、タッチライン際でのカメラマンに危険性があれば、後ろに下がるよう注意する。
- 12 競技中の飲水について  
飲料水の容器が、ハーフウェイラインの両外側に立てられたフラッグポストの外側及び自軍ゴールのネット後方に置いてあるかどうかを確認する。  
又、水を運ぶ者が競技者と見分けがつく服装かをチェックする。  
尚、容器の中が水であるかないかの確認は要らない。